

鎌ケ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び市の今後の取組の考え

施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標 (KPI)	担当課	今後の取組の考え
<p>【基本目標1】 ・都市のブランド化の創設及び推進 ・地域活性化の推進</p>	<p>鎌ケ谷市民まつりは、約7万人が市へ来訪した大きなイベントである。市では、昨年度コンセプトを定め、盛り上げていると思うが、今後も鎌ケ谷の魅力をもっと発信して欲しい。</p> <p>良いホームページを作るだけでなく、市外の人をどのように市へ誘引していくかが重要である。 例えば、検索で梨と打ったら、鎌ケ谷市が上位にヒットするなど、市へ呼び込む施策を進めていけると良い。</p>	<p>・ブランドWEB閲覧件数 ・地域活性化の情報発信回数</p>	<p>企画政策室</p>	<p>鎌ケ谷市のブランド化事業については、昨年度、市の強みや特徴等を集約した統一コンセプト「育つまち 鎌ケ谷」を定め、「やがて故郷に変わるまち 鎌ケ谷」をキャッチコピーとして、全庁一丸となり、PRを図っています。 特に今年度は、市のブランドサイトや広報をはじめ、電車の中吊り広告やラジオ番組を活用した情報発信、コンセプトブックを配布することで、市の魅力を市内外へPRしたほか、市民との直接対話として、まちづくりフォーラムの中でブランド化について情報共有を図ることで、ブランド化事業への理解を深めてきました。 来年度は、職員へのブランド化事業の意識付けを引き続き進めていくとともに、キャッチコピーやブランドサイトの活用を促進することで、市の魅力ある情報を発信していきます。 そのためにも、市だけでなく、市民との協働による魅力ある事業に取り組むことで、まちの魅力や知名度向上を図り、子育て世代や共働き世代など若者世代の人口誘導を図っていきます。</p>
<p>【基本目標1】 ・北海道日本ハムファイターズ等におけるスポーツイベントの協力 ・他自治体との資源共有化と連携強化</p>	<p>今後も、市と日本ハムファイターズ、商工会とでコミュニケーションを取り合い、市の魅力向上に繋げてほしい。 また、日本ハムファイターズと協力し合い、北海道や沖縄県などの地域間連携を強化できると良い。</p>	<p>・北海道日本ハムファイターズ等のスポーツイベント参加人数 ・観光イベント開催数</p>	<p>商工振興課 文化・スポーツ課</p>	<p>ファイターズ鎌ケ谷スタジアムで実施する様々なイベントにて、北海道日本ハムファイターズ・鎌ケ谷市商工会・市の3者で協力していきます。 市の観光ビジョンにおいても、北海道日本ハムファイターズを共有する、北海道や沖縄県の自治体との都市間連携については、まず取組むべきリーディングプロジェクトと位置付け、平成27年度より北海道日本ハムファイターズや北海道札幌市の表敬訪問を実施したところです。 また、平成28年度には東京ドームにて、札幌市、名護市、国頭村、鎌ケ谷市の4市村共同で都市間の交流人口増加を図るべくPRや、市長による沖縄キャンプ地でトップセールスを実施しました。 引き続き、より具体的な都市間連携を図っていけるよう努めていきます。</p>
<p>【基本目標2】 就学前の子どもに関する教育・保育サービスの充実 (病児保育整備事業)</p>	<p>「病児保育整備事業」は、子育て世代に必要な制度であり、期待している。今後も進めて欲しい。</p>	<p>病児保育事業実施施設数</p>	<p>幼児保育課</p>	<p>平成29年1月から、白井市と共同で白井聖仁会病院において病児保育事業を実施しており、平成29年度も継続して事業を実施します。平成29年度予算では、病児保育負担金として2,324千円を計上しています。 なお、市内の鎌ケ谷総合病院において病後児保育事業を実施していますが、病児保育事業の実施につきましては、今後も課題を整理しながら協議を進めていきます。</p>
<p>【基本目標2】 結婚や子育てを応援する街のPR (団体等の婚活イベント支援事業)</p>	<p>「団体の婚活イベント支援事業」について、まちの知名度アップのため、新聞に掲載するなど、PRに繋がることから、ぜひ今後とも進めていただきたい。</p>	<p>結婚記念証の交付数</p>	<p>企画政策室</p>	<p>平成29年度予算に婚活イベントの実施に関する費用を計上しており、本市の地域資源である北海道日本ハムファイターズと協力して、市内の農業従業者や市内在住者を中心に、出会いの場を提供することにより、農家の後継者問題解消や市民の定住促進、市外からの流入人口の増加に繋げていくことを考えています。 また、イベントの実施にあたっては、結婚や子育てを応援する街として、広報やホームページをはじめ、様々な情報発信媒体を活用し、PRを図ることで、市の魅力アップや、まちの知名度向上にも繋げていきます。</p>
<p>【基本目標3】 鎌ケ谷市の特性に応じた企業立地の促進</p>	<p>企業誘致について、用途地域の関係で、なかなか厳しい。鎌ケ谷に出店したいという声は聴くが、道路事情の問題と用途地域の問題がネックとなっている。ここが改善できれば、誘致は進み、雇用の確保にも繋がる。</p>	<p>・新たに立地した誘致企業数 ・新たに立地した誘致企業の雇用従業員数</p>	<p>商工振興課 (関係課) ・都市政策室 ・道路河川整備課</p>	<p>企業誘致において、インフラ整備等のハード面による支援は有効な支援策の一つであると考えことから、今後も北千葉道路を始め、都市計画道路の整備に積極的に取組み、物流ルートの確保等に努めたいと考えています。 しかしながら、ハード面による支援には、多くの調整や時間を要するものであります。インフラ整備等だけではなく、現状の限られた条件の中で、市民生活の向上や市税の増収、雇用の確保などに寄与する企業を誘致すべく、進出企業にとっても市民にとっても有用な鎌ケ谷市ならではの特色ある支援制度の制定について、検討を進めていきます。</p>

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び市の今後の取組の考え

施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標 (KPI)	担当課	今後の取組みの考え
【基本目標3】 地域産業の競争力強化	鎌ヶ谷市の梨はとても美味しいことから、今後も市とJAが協力し、認定農業者数を増やし、他市に負けない梨を提供していけると良い。	認定農業者数	農業振興課	来年度は新たに実施計画に位置づけ、梨のインターネット販売を行うこととしており、「鎌ヶ谷の梨」を全国の方々に知ってもらうため、農業者と協力して取組んでいきます。 また、羽田空港でのPRイベントや札幌・名護・国頭での販売も、「鎌ヶ谷市梨業組合」及びJAの協力を頂きながら実施する予定です。 なお、認定農業者への追加の利子補給についても、来年度からの実施を予定しており、認定農業者を増やすための取組みも行っています。
【基本目標4】 自治会加入促進対策の推進	自治会への加入については、鎌ヶ谷市へ転入してくる人には、宅建協会や市民課でチラシを配布してもらうなど対応しているところだが、現在、市に住んでいる人に、どうやって自治会に加入してもらうかが重要である。 この問題については、自治会連合協議会だけでは力不足であり、自治会加入促進のため、市にも是非協力をお願いしたい。	自治会加入世帯数 (基本目標の指標)	市民活動推進課	自治会加入促進のPRチラシについては、市民課で転入者向けに配布するほか、公共施設や宅地建物取引業協会市川支部鎌ヶ谷地区会員店舗にて配布を依頼することに加え、様々なイベント等の場でも配布を行うことで、自治会加入促進を図ることとします。また、今後も町会・自治会加入促進の対策について、関係者の皆様と協議を進めていきます。
【基本目標4】 公共交通網の充実 (新京成線連続立体交差事業)	新京成線については、現在、高架事業が着々と進められ、新鎌ヶ谷駅や初富駅では駅舎が出来るなど、目に見える形で事業が進んでいる。 この高架が完成すれば、踏切が解消されることで、車の渋滞も減り、市の街づくりも大きく変わってくるかと思う。 これからの市の取組みの中で重要な事業であるので、県と市と協力しながら、事業を進めて欲しい。	新京成線連続立体交差事業進捗率	道路河川整備課	新京成線連続立体交差事業は、鉄道の高架化に向け、事業費を集中的に投入して、急ピッチで事業が進捗していますが、今後も継続的に大きな事業費が必要であることから、この事業費を確保し、早期完了に向け、千葉県と協力して積極的に取組んでいきます。